



いしかわ労福協

第 488 号 2008年9月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田弘志
 編集人 綿 征一
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

「ジョブいしかわ(仮称)」 無料職業紹介所事業許可!

昨年12月6日の石川労福協第4回理事会で無料職業紹介所「ジョブいしかわ(仮称)」の開設を決定後、諸準備(職業紹介責任者講習会受講、石川労福協定款変更、石川労働局・石川県との折衝、先進県視察、紹介所の場所を確保)を進めてきた。

その後、7月15日に石川労働局に対し「無料職業紹介所開設許可申請書」等の必要書類を提出。石川労働局は書類審査を行い、8月1日付で厚生労働省へ許可申請書類を送付、9月1日付けで事業許可証が石川労福協に届いた。

石川労福協第3回理事会

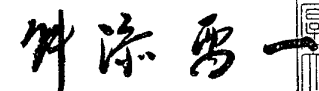
県労福協第3回理事会が8月26日(火)、フレンドパーク石川で開かれ、「理事代理の選任」や「暮らしの総合サポートセンター開設に向けて」、「2009年度自治体要請行動について」等を協議した。

理事代理の選任では、春木幸裕理事(連合石川・情報労連)と嶋垣利春理事(連合石川・私鉄総連)の退任に伴い、後任の理事代理として湊口洋伸氏(連合石川副会長・情報労連)と南高広氏(連合石川副会長・私鉄総連)を選任した。

理事会ではその他、「石川労福協人事委員会委員の選任について」や「緊急サポートネットワーク事業について」、「ライフ・サポートセンター活動について」、「石川労福協旅費規程の改正について」等を協議した。

なお、次回理事会は10月27日(月)13時30分よりフレンドパーク石川で開催する。



許可番号	17-ム-300006
許可年月日	平成 20年 9月 1日
無 料 職 業 紹 介 事 業 許 可 証	
(氏名又は名称) 社団法人石川県労働者福祉協議会	
(所 在 地) 石川県金沢市西念3丁目3番5号	
上記の者は、職業安定法第33条第1項の許可を受けて、下記 のとおり無料職業紹介事業を行う者であることを証明する。 平成 20年 9月 1日	
厚生労働大臣 	
1 取扱職種の範囲等	全職種
石川県内	
2 事業所の	名称 石川県労福協無料職業紹介所(ジョブいしかわ)
所在地	石川県金沢市西念3丁目3番5号
3 許可の有効期間	平成 20年 9月 1日から平成 25年 8月31日までとする。

事業所様 1

2008年度人事委員会委員

委員長	上田 弘志	(理事長)
委 員	梅澤 彰人	(副理事長・事業団体)
〃	橋本 和雄	(副理事長・事業団体)
〃	才田 巖	(専務理事・事業団体)
〃	狩山 久弥	(理事・労働団体)
〃	坊 真彦	(理事・労働団体)
〃	宮下 亮	(理事・労働団体)

事業団体連絡会議 平成21年度 自治体要請内容を決定

石川労福協と各事業団体は、県内の組織労働者をはじめ、未組織労働者や退職者、高齢者、障害者の福祉の向上を目指す取り組みとして、毎年、石川県と各市町に対して要請行動を展開している。

今年 は8月28日(木)と9月16日(火)、フレンドパーク石川で、県労福協や北陸労金、全労済、住宅生協、労信協、生協連、勤体協、勤文協、介護ボランティアセンターの代表が参加し「事業団体連絡会議」を開催。自治体に対する要請内容と行動日程を確認した。

1県10市9町に対する平成21年度自治体要請内容は、石川労福協が今秋に開設する「無料職業紹介所(ジョブいしかわ)」への連携・支援を中心に、助成金及び出資金、地域ライフ・サポートセンター運営補助金等を要請。また、各事業団体からは、勤労者貸付金制度、小口資金融資制度、育児・介護休業資金融資制度の制度金融資金等利子補給補助金(労金)、補助金及び運営資金・長期設備資金(生協連)、補助金の充実(勤体協、勤文協)等を要請する。なお、住宅生協の勤労者住宅事業資金は、今年度より要求しない。



要請行動は、10月1日(水)石川県市長会、町長会事務局への説明、2日(木)県議員団懇談会、3日(金)中央ブロック議員団懇談会(金沢市・野々市町・内灘町)、14日(火)加賀ブロック議員団懇談会(小松市・加賀市・白山市・能美市)と加賀地区自治体担当者会議、15日(水)能登ブロック議員団懇談会(七尾市・羽咋市・輪島市)と能登地区自治体担当者会議をそれぞれ開催し、要請内容を説明。引き続き、10月20日(月)加賀地区自治体要請行動(野々市町・白山市・川北町・能美市・小松市・加賀市)、23日(木)能登地区自治体要請行動(内灘町・津幡町・かほく市・宝達志水町・羽咋市・中能登町・七尾市)、24日(金)能登地区自治体要請行動(穴水町・能登町・珠洲市・輪島市・志賀町)の後、11月11日(火)金沢市長への要請で全日程を終了する。なお、石川県知事への要請は、10月末か11月上旬の予定。

中央労福協主催 地方労福協事務担当者研修会

中央労福協主催「2008年度地方労福協事務担当者研修会」が9月11日～12日に北海道夕張市で開催され、全国の労福協職員約40名が参加した。

冒頭、笹森清中央労福協会長が「思いを一つに！共感の得られる労働運動を」をテーマに、日本の戦前・戦後の労働運動の歴史や理念を、会長自らの経験談を交え「現在の少子高齢化社会の中で、労働運動、福祉運動をこれからどのように受け継ぐか、その中で各県のライフ・サポートセンターの役割はいかに重要か、皆さん一人ひとりが主役になってほしい」と講演した。続いて、高橋均中央労福協事務局長が講演。当面する中央労福協の課題を反貧困運動とし、「貧困を無くす第一歩は格差是正であり、労働者の最低賃金の引き上げや生活保護給付引き下げ反対に取り組んでいきたい」と訴えた。

研修会ではこの他、夕張市職員労働組合の厚谷委員長による夕張市財政再建計画における苦労談や札幌市議会議員で落語家でもある林家とんでん平氏の「夕張市の炭鉱で働く労働者」をテーマにした落語

事務局日誌

<8月>

- | | | |
|-------|-------------|-----------|
| 26(火) | 石川労福協第3回理事会 | フレンドパーク石川 |
| 28(木) | 第1回事業団体連絡会議 | フレンドパーク石川 |
| 29(金) | 子育て支援メッセ説明会 | 県総合スポーツC |

<9月>

- | | | |
|-------|----------------------|-----------|
| 1(月) | 事務局会議 | フレンドパーク石川 |
| 〃 | 第40次欧州労働者福祉視察団(～11日) | ヨーロッパ |
| 〃 | 消費者団体連絡会議実行委員会 | フレンドパーク石川 |
| 2(火) | キャリアコンサルタントセミナー(～3日) | 東京都 |
| 4(木) | 2008年石川県貧困キャラバン(～8日) | 石川県内 |
| 〃 | 全国会館第38回定期総会(～5日) | ワークピア横浜 |
| 7(日) | 反貧困シンポジウム | 県地場産C |
| 11(木) | 北陸三県労福協連絡会議(～12日) | 夕張市 |
| 〃 | 地方労福協事務担当者研修会(～12日) | 夕張市 |
| 13(土) | 食・緑・水ネット支援米刈刈り | 金沢市内 |
| 15(月) | 子育て支援フェスタ | 県総合スポーツC |
| 16(火) | 第2回事業団体連絡会議 | フレンドパーク石川 |
| 18(木) | 地方労福協・事業団体合同会議(～19日) | 東京都 |
| 22(月) | 北陸三県連合・労福協・労金連絡会議 | 北陸労金 |

を鑑賞するなど、有意義な研修を受けることができた。

石川労福協事務局員 紙谷加奈子

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

日本海・子育て支援メッセに出展

(財)いしかわ子育て支援財団主催の「日本海・子育て支援メッセ」が、9月15日(月・祝)、金沢市稚日野町の「いしかわ総合スポーツセンター」(H20・4月新装オープン)で開催された。

子育て支援メッセは、地域や企業・行政・関係団体・NPO法人などが一堂に会し、子育てに関連する諸情報を来場者に提供することを目的に毎年開催されている。今回も56の支援団体や企業が参加し、延べ12,000名の来場者で賑わった。

石川労福協「緊急サポートネットワーク」も展示ブースにパネル・ポスターを展示し、風船500個とチラシ入りティッシュを子どもたちと親に配りながら大々的にPRを行った。風船は、行列ができるほどの盛況で、2時間ほどで無くなり、事務局は汗だくで対応に追われた。また、緊急サポートの相談も



3件あった。

会場では特設ステージでの吹奏楽演奏や人形劇、トランポリン、アスレチック、バルーンドームなどで子どもたちの歓声が響いた。

緊急サポートアドバイザー 直江圭祐

会員募集状況／サポート状況 8月31日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	8 (+1)	2 0
わじま	2	9	5 0
ななお	6	3	0 0
はくい	1	5	0 0
かほく	12	52 (+1)	43 (+3)
かなざわ	97	283 (+9)	290(+48)
はくさん	25	65 (+1)	58(+13)
こまつ・のみ	17 (+1)	32 (+1)	9 0
かが	3	4	0 0
計	169 (+1)	461 (+13)	407(+64)

※()は前月比。なおサポート回数は今年度の総数

全国会館協第38回定期総会

全国労働者福祉会館協議会第38回定期総会が9月4日(木)、加盟27会館中16会館およびオブザーバーの2会館から合わせて33名が参加し、ワークピア横浜にて開催された。

はじめに景山弘二会長より、続いて来賓の中央労福協副会長遠藤幸男氏、神奈川労福協会長小西正典氏より挨拶があり、祝電披露の後、議案審議に入った。

第1号議案「2007年度事業報告」～第6号議案「役員改選」まで、すべて満場一致で承認され、最後に今総会で退任する景山会長他役員が順に挨拶し、総会は約1時間で終了した。

総会に先立ち、職員研修会が行われ、税理士で新公益法人制度普及・啓発員の関口邦興氏を講師に「新公益法人制度への移行」について学習した。

今回は、これまでに何度となく新公益法人会計の学習会に参加した者が対象とあって、参加者から具

体的な質問を提示してもらい、それに答える形で進められた。

会館を運営するに当たり、いちばんネックになるのが現在行っている事業が「公益目的事業」と認定されるかどうかであり、公益事業の「収支相償(収益が費用を超えてはならない)の原則」は、今の会館運営の現状、つまり収益事業を行っている現状では到底守られるはずもなく、今後の大きな課題となる。

最後に、先走る必要はないが、今後5年間のうちに組織として課題を認識し、来年の総会にはぜひ方針を決定してほしいと締めくくった。

フレンドパーク石川事務局 吉村和実



勤文協主催

「第37回石川県勤労者絵画・陶芸展」

アマチュア作家の力作91点展示

石川県勤労者文化協会主催「第37回石川県勤労者絵画・陶芸展」は8月28日から31日まで、金沢市の金沢歌劇座1階展示室で開かれ、県内の勤労者や主婦、高齢者ら79名のアマチュア作家の力作、日本画20点、洋画62点、陶芸9点、合計91点が展示された。

入賞作品は9月2日から順次、羽咋市の羽咋労働福祉会館、白山市のパーク獅子吼ふれあい館、能美市立寺井図書館、珠洲市のラポルトすず市民ギャラリー、白山市の美川コミュニティプラザ、志賀町文化ホールで移動展示される。

入賞者

◇日本画▽北國新聞社長賞
助美孝子(金沢市)▽労福協理事長賞 安岡龍男(同)
▽金賞 竹俣博子(同)
▽賞 鳥越友江(能登町)▽銅賞 河合百合子(羽咋市)
▽洋画▽北國新聞社長賞 新宅雄小松市▽労福協理事長賞 村山昭久(志賀町)▽金賞 多田公子(金沢市)▽銀賞 有田和佐(能美市)▽銅賞 石倉博美(内灘町)▽佳作 塩谷つ子(白山市)▽佳作 小松市 鶴岡俊行(かほく市) 川崎豊一(金沢市) 田中宏見(同) 梶川康子(同) 森保弘(白山市) 中川忠雄(金沢市) 小川政之(同) 東智子(白山市) 佐藤恵一(金沢市)▽労福協理事長賞 安藤さおり(能美市)▽佳作 西高昭(金沢市)

第11回「色写」会員写真展

9月4日(木)～14日(日)の間、金沢市西念の「ギャラリー・フレンドパーク」で「色写」の会員展が開催された。



展示した写真は会員が自分で撮影し、自分で選んだ力作を2枚ずつ持ち寄ったもの。また、期間中は会場に会員が常駐し、撮影場所の問合せ等、見に来た人の質問に答えた。



「色写」は石川県勤労者文化協会の写真クラブで、中川宏治氏を講師に会員14名で構成。美しい自然の姿を撮影している。

「色写」会員 一明政行

第58回

石川県勤労者美術展

と き 2008年 11月12日(水)～11月16日(日)

午前10:00～午後5:30 但し、最終日(16日)は午後3時まで

ところ 金沢勤労者プラザ

金沢市北安江3丁目2番20号 TEL 076-221-7771

- 主 催 石川県勤労者文化協会
- 後 援 石川県 北國新聞社・北陸放送 北國新聞文化センター 石川県労働者福祉協議会
- 協 賛 金沢市・連合石川 北陸労働金庫石川県本部 全労済石川県本部
- 作品搬入 11月8日(土)・9日(日)
- 搬入場所 要項記載の通り
- 問合せは 石川県勤労者文化協会 TEL.(076)231-1746



清水、重印とも 一水田清風

日本画



北國新聞社長賞
「旅の思い出」 助美 孝子 (金沢市)



労福協理事長賞
「水辺」 安岡 龍男 (金沢市)



金 賞
「サツキ」 竹俣 博子 (金沢市)



銀 賞
「晩 夏」 鳥越 友江 (能登町)



銅 賞
「隣の畑のお婆」 河合 百合子 (羽咋市)

洋 画



北國新聞社長賞
「初 雪」 新宅 義雄 (小松市)



労福協理事長賞
「糸魚川」 村山 昭久 (志賀町)



金 賞
「ひまわり」 多田 公子 (金沢市)



銀 賞
「琵琶湖でバカンス」 有田 和左 (能美市)



銅 賞
「バラのささやき」 石倉 博美 (内灘町)

陶 芸



北國新聞社長賞
「はるか」 佐藤 恵一 (金沢市)



労福協理事長賞
「華のうつわ」 安藤 さおり (能美市)

全労済本部総会

金沢市で開催

8月29日(金)、金沢市文化ホールで全国から役員・代議員ら約450名(代議員356名中352名)が出席し、全労済本部の「第101回通常総会」が開催された。

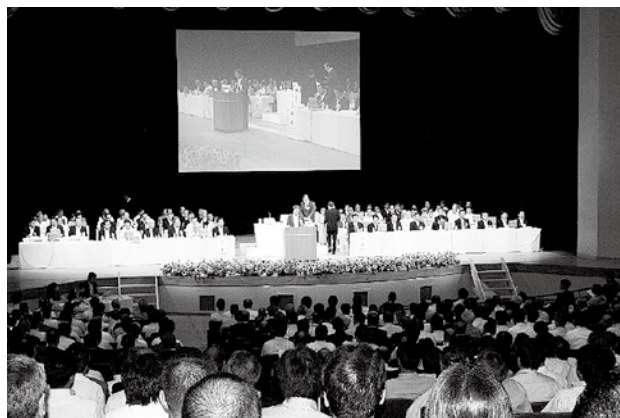
開会にあたり、近藤一志常務理事より「能登半島地震の復興支援を願い、ここ石川県金沢市で開催した」と開催地選定の意義を述べ、芋堀藤五郎伝説による金沢の由来、室生犀星・徳田秋声・泉鏡花の三大文豪の生誕地であることや金箔、加賀友禅等、金沢の特徴を紹介し、「この地で思い切りお金を使っていただくことが復興の一助となる」と協力を要請した。

引き続き、石川太茂津理事長が「相次ぎ発生した大地震や局地的な豪雨などで、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます」と前置きし、2007年度の活動では「社会貢献活動の一環として、環境問題、子育て支援に活動する団体に対する助成や白神山地のブナ林保護のための募金活動を実施した」と報告。また、2008年度は「第5期計画(2007・2008年度計画)」の後期年度として、共済金支払い調査結果に基づく再発防止策の実行などについて当初計画を補強する」と述べ、新生協法施行に伴う対応として「共済代理店の設置や共済募集に関する取り扱いなどの態勢整備を図る」と話し、最後に「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくりをめざす」と挨拶を締め括った。

来賓挨拶では、笹森清労福協会長が労働運動と労金・全労済の設立の経緯を説明し、「現在の日本社会は『情(なさけ・じょう)』までも崩れてきた。これをどう回復するかが課題であり、労福協は、貸金・クレサラの対応に取り組み、多重債務等の法律改正ができた。異質の団体との協力により成果が発揮できる」と挨拶した。また、地元労福協・労働団体を代表し上田弘志石川労福協理事長(連合石川会長)が「能登半島地震での全労済役職員のスピーディーな対応に感謝する」と述べ、石川県が取り組んでいる地域ライフ・サポートセンターを紹介し、「労働者福祉の拠点とし、今年より開設する無料職業紹介所を加え『暮らしの総合サポートセンター』と位置づけたい」と報告。最後に『「能登はやさしや土までも」』と言われており、是非、能登半島も巡っていただきたい」と挨拶した。

議案提案では、2008年度活動計画(案)について東日本事業本部と西日本事業本部の代議員から「団塊世代の退職による契約移行率は22%であり在職中の対応を検討していただきたい」等、現場の実情にあった具体策を求める意見があり、全議案を提案通り可決した。

最後に、理事2名の退任に伴う補充提案があり、石



石川太茂津
全労済理事長



上田弘志
石川労福協理事長



川県本部の橋本和雄理事長が本部理事に就任、員外監事1名増員では、小林靖氏(49歳)が承認された。

県LSC事務局次長 一明政行

アジア・アフリカ支援米「稲刈り」



食とみどり、水を守るいしかわネットワークは、アジア・アフリカ支援米の「稲刈り」を9月13日(土)、金沢市牧山町で行い、親子連れを含め全農林や連合組合員ら約100名が参加した。

集合場所の金沢市ガラス工房グラウンドで、才田巖ネットワーク副代表や奥田建民主党幹事長、宮下登詩子石川県議員、山本由起子金沢市議員が挨拶した後、早速稲刈りを始めた。早朝からの小雨も上がり、5月17日に田植えした近くの田んぼで、管理者の山本英一さんが稲刈りを指導、参加者は稲を手際よく刈り取っていった。稲刈り後は、子供たちが生き物調査を行い、コカマキリ、トノサマバッタなどの生き物を観察した。

昼食交流会では、全農林やネットワーク支援団体の役職員がお世話した焼きそば、めった汁、ポップコーンを食し、思い思いのおにぎりを作り盛り上がった。また、金沢市企業局提供の「金沢の水」で喉を潤した。

反貧困シンポジウム

人間らしい生活の保障を求めて

反貧困シンポジウムは9月7日(日)13時より金沢市鞍月の石川県地場産業センターで開催された。

シンポジウムは、北陸クレ・サラ、ヤミ金、商工ローン対策会議が主催、後援の石川労福協や連合石川、司法書士会等が呼びかけ、一般参加者を含め、200名余りが参加。急遽椅子席を追加したが、会場はいっぱいだったまま傍聴する者も見えた。

上田弘志石川労福協理事長と大野敏広石川県司法書士会会長が挨拶した後、後閑一博司法書士が「生活保護と野宿者支援」を、中野麻美弁護士が「派遣労働問題の活動現場からの訴え」を、桑原豊自治労石川県本部地方自治政策研究室室長が「石川の労働現場から」を報告、活動の経過と現状の課題を述べた。

代表幹事で司法書士の喜成清重氏がコーディネーターで進められた意見交換では、中野弁護士から「企業は社会的役割より利益を上げ、株主に配当することで企業の価値が決まってきている。そして、労働者は投資では無くコスト化している。また、国際社会が新しいルールに動いていることも見なければならぬ」と訴え、参加者からも意見や要望が活発に出された。

このシンポジウムは、中央労福協等が参加し生活



後閑司法書士



中野弁護士



桑原室長

保護問題対策全国会議が主催する「反貧困全国キャラバン2008」の一環。貧困撲滅と生活保護基準引き下げ阻止を求めて7月12日西ルート(北九州市)、13日東ルート(さいたま市)でスタート。キャラバンには、38地方労福協が協力。バトンされていくキャラバンカーが行く先々で、労福協をはじめ、弁護士や司法書士、市民団体などが連携して街頭宣伝や集会、セミナー、自治体要請などに取り組んでいる。

石川県は9月4日(木)、富山県より引き継ぎ、北陸クレ・サラ、ヤミ金、商工ローン対策会議が中心となり街頭宣伝や自治体要請等を実施。9月8日(月)に福井県に引き継いだ。なお、10月19日(日)に東京明治公園で「打ち上げ集会」を予定している。

勤体協主催「夏・秋季体育大会」

石川県勤労者体育協会主催「第41回夏季体育大会」と「第42回秋季体育大会」が相次いで開催された。

『夏季大会』は、「ソフトボール金沢大会」(金沢市営専光寺ソフトボール場)の最終戦が8月24日に開催され、4組でD Zシャークス、5組でスパークが優勝した。「ソフトバレーボール大会」(津幡総合体育館・津幡運動公園体育館)も同日、6部門に114チームが出場して争われ、混合フリーのA組でイーストパープルA、B組でTSUNAMI、C組でPHOENIX、D組でドラゴンマジック、混合240歳以上でカサブランカ、混合200歳以上のA組でFreedom、B組で森山SVC、混合160歳以上のA組で余喜SVC、B組でゆめまる、女子フリーで笠野ピーチ姫、女子180歳以上で米丸トゥインクルがそれぞれ優勝した。

『秋季大会』は、「ソフトテニス大会」(小松末広コート)が8月31日開催され、団体で男子は大同工業、

女子はふたばクラブ、個人は男子で辻井恒義・宮村憲治(野々市クラブ)、女子で芝幸子・井上芳衣(ふたばクラブ)、シニアは大杉茂博・玉井孝彦(野々市クラブ)がそれぞれ優勝した。「相撲大会」(津幡町常設相撲場)は9月7日に開催され、団体は金沢市Dが優勝、個人は一般で瀬戸祐介(金沢市C)、青壮年で寅松大輔(能登町)が栄冠を手にした。「パークゴルフ大会」(白山市松任海浜公園)も同日で行われ、団体男子で小松ヤマト(白山)、同女子で松任あさが優勝。個人の男子は木村喜八郎(白山)、女子は吉原恵子(能美)が制した。「バドミントン大会」(小松市末広体育館)も同日に開催され、一般の男子単で田中雄基(翼Z1)、女子単で嶋倉真紀子(飛翔会)、男子複で松原健治・川之上泰則(小松協会)、女子複で嶋倉真紀子・苅千恵(飛翔会)、30歳の男子単で宮谷義浩(飛翔会)、男子複で宮谷義浩・吉岡直樹(飛翔会)、女子複で竹中幸枝・南出卯好(千代野クラブ)がそれぞれ優勝した。「マレットゴルフ大会」(金沢市戸室スポーツ広場)も同日開かれ、男子は野村康宏(金沢市)、女子は西野昌子(白山市)が優勝した。

地域ライフ・サポートセンターだより

加 賀

ひるがの高原
牧歌の里バスツアー

8月23日(土)、第2回目となる「バスツアー」を開催した。

バス1台(26人)と若干少ない参加者となったが、夏休みの思い出にと子供連れ家族の参加もあり、和気あいあいと和やかな雰囲気での出発となった。

天気はあいにく雨が降ったり止んだりと良くなかったが、酷暑も一休みと大変涼しく過ごしやすー日となり、参加者は、鍾乳洞、ラーメン工場見学や牧歌の里での飛騨牛のバーベキュー、手焼きせんべい体験など、天候を気にすることなく各観光地を満喫した。

最後にLSC幹事より、これから行われる各種事業・活動に対して参加協力をお願いし、無事帰路についた。

加賀地域LSC事務局長 伊藤謙次

葡萄狩り

加賀地区LSC恒例行事「葡萄狩り」を8月30日に実施。当日は天候が危ぶまれたが、曇り空で比較的過ごしやすーイベント日和となった。

地域の方々にとって毎年心待ちにしている行事であり、夏休み最後の土曜日とも重なって親子連れが多く、昨年比59名増の総勢329名(大人184名、小学生以下145名)が参加。今年は葡萄の出来が良く、併せて新種の葡萄が出たこともあり、お土産を買い求める方が多く、また、「金魚すくい」、「バルーンアート」も人気を集め、イベント終了時刻いっぱいまで子供達が輪を描き、参加いただいた方々には大変喜んでいただけた一日となった。

加賀地域LSC事務局次長 滝田敏男



羽 咋

チャリティー映画上映会

8月3日(日)、北陸労働金庫羽咋地域交流行事として映画「崖の上のポニョ」のチャリティー上映会を羽咋地域LSC協賛で開催した。

中学生以下全員にポニョグッズのプレゼントということもあって、予定人数300名に対し346名の参加があり、多くの親子連れで賑わった。

また、上映に先立ち行われたお楽しみ抽選会(映画ペア招待券5本、ポニョお楽しみ袋10袋)では、羽咋労金推進委員会の平田伸也委員長が抽選を行い、大いに盛り上がった。

なお、皆さんからの募金と参加費の一部を加え、岩手・宮城内陸地震の義援金として寄付させていただいた。

北陸労働金庫羽咋支店次長 奥村賢志

飛騨牛バーベキュー&
森の中の温泉でゆったり

8月24日(日)、羽咋地域LSCは羽咋労館と連合羽咋地協との共催で、飛騨牛バーベキュー&森の中の温泉でゆったり「牧歌の里バスツアー」を実施した。

当日は、夜半の雨で天候が心配されたが、朝6時30分、労金友の会および現役会員ら120名がバス3台にて一路「ひるがの高原」へ向かった。途中、飛騨大鍾乳洞、高山板倉ラーメン作業場に寄り、現地に着いた時は高原にも関わらず28度と暑かったが、雨で12度だった前日と比べれば過ごしやすく、これも参加者の日頃の行いであろう。

噂の飛騨牛・バーベキュー付きの昼食をお腹一杯食した後は、温泉へ入る人や園内を散策する人、ショッピングを楽しむ人と思ひ思いに過ごした。

帰路は、福光のかきやまの里へ寄り、手焼きせんべいの自習体験し、事故も無く、羽咋には無事、定時に帰着した。

今回は初めての場所であり、参加者が集まるか心配されたが、無事終了することができ、感謝しております。今後も会員の親睦を図れるよう計画・実施します。

羽咋地域LSC事務局次長 上田清春

金 沢

グラウンド・ゴルフ
金沢地域合同予選会

県福祉グラウンド・ゴルフ中央大会、金沢地域合同予選会が9月9日(火)金沢市民芸術村「大和町広場」で開催。金沢地区3ブロックより137名の選手が本大会出場を目指して競い合い、金沢西ブロックの林孝輝さんが見事総合優勝を勝ち取った。

<成績>

優勝 林 孝輝(金沢西)

準優勝 山下和廣(〃)

3 位 坂井栄作(金沢南)

金沢地域LSC事務局長 谷内英明

「出会いの広場」in サマー



8月20日(水)午後6時30分から金沢都ホテルで、連合金沢主催、金沢地域LSC協賛の「出会いの広場」in サマーが開催された。

連合金沢の組合員の出会いづくりをと一昨年から開催され、今回は58名(男性32名、女性26名)の美男美女が参加し、男女毎に名前を交換する交流ビンゴゲームや食事タイム等を楽しみ、ファイナルのプレゼントタイムでは見事カップルも誕生した。

また、終了後も楽しい夏の一夜を過ごすそうと繁華街に繰り出すグループのうしろ姿も見られた。

金沢地域LSC事務局次長 谷内英明

